

ちの

市議会だより 令和7年9月定例会

第55号
2025.12.1



もくじ

- ▶ 委員会審査 2
- ▶ 一般質問通告一覧 5
- ▶ 議決結果 7
- ▶ 議決賛否・議会活性化委員会報告 8



福祉教育委員会行政視察の様子



10月から11月にかけて、各常任委員会では
行政視察を実施しました。

詳しい内容は、次号の議会だよりで報告します。

令和7年度議会報告・意見交換会を開催します！

- 【日時・場所】
- ・令和8年1月25日（日曜日） 午前10時～ 湖東地区コミュニティセンター
 - ・令和8年1月30日（金曜日） 午後7時～ 茅野市中央公民館 2階学習室
 - ・令和8年2月6日（金曜日） 午後7時～ ゆいわーく茅野 3階集会室
 - ・令和8年2月8日（日曜日） 午前10時～ 玉川地区コミュニティセンター

※詳細は、広報ちの1月号またはホームページでご案内します。

茅野市議会
ホームページ



令和7年9月定例会

茅野市議会令和7年9月定例会は、8月26日（火）から9月22日（月）までの会期で開催しました。

9月定例会のあらまし

9月定例会では、市提出議案21件、議員提出議案3件、陳情2件を審議しました。主に前年度の各事業の決算を審議することから「決算議会」とも呼ばれています。

9月定例会の各常任委員会では、委員会付託を省略した議案を除き、契約、市道認定、条例改正、補正予算、各会計の決算、陳情、意見書案を審査しました。

委員会における 主な議案の審査

予算決算委員会

（9月9日、11日、12日）

委員長 木村 明美

議案第58号

令和7年度茅野市一般会計補正予算（第3号）について

全会一致で可決

歳入歳出それぞれ2億654万9千円を追加し、歳入歳出それぞれ309億5,258万1千円とするもの。

議案第59号

令和7年度茅野市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

全会一致で可決

歳入歳出それぞれ1,001万円を追加し、歳入歳出それぞれ50億1,957万円とするもの。

議案第60号

令和7年度茅野市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について

全会一致で可決

歳入歳出それぞれ4,130万1千円を追加し、歳入歳出それぞれ11億2,687万9千円とするもの。

議案第61号

令和6年度茅野市一般会計歳入歳出決算の認定について

賛成多数で認定

歳入決算額は、305億1,192万1,132円。歳出決算額は、295億1,883万9,156円。歳入歳出差引残額は、9億9,308万1,976円となり、翌年度へ繰り越すべき財源1億507万7,000円を差し引き、実質収支額は、8億8,800万4,976円。

反対討論

一番の理由は、令和6年度当初予算の反対理由に対して改善が見られなかったこと。地方の町で、市民の足の確保は喫緊の課題であり、大胆にチャレンジしていることは評価するが、のらぎがあがり入っていない空白地帯があり、令和4年の運行開始から、改善されていない。また、のらぎあのシステムについて、最新のA-というが、まだに不具合があり、改善できていない状況にある。契約の見直しも考えるべきである。また、交流人口・関係人口の創出のための国の補助事業だからという説明では、本当にその事業が市民益になっているのか疑問であり、本当に市民のためになっているかの検証が必要である。そして、基金の取崩しのない決算になったことは評価するが、繰越金が出ているにもかかわらず、財政が厳しいことをことさらに話すことは市民が委縮する。厳しい状況を伝えるのは当たり前なことではあるが、伝え方には一工夫が必要である。さらに、令和7年度から事務事業評価を行うとのことであるが、それ以前の対応には疑問が残る。

賛成討論

議会の役割は、一会計年度の歳入歳出予算の執行の実績である決算について、その内容を審査した上で、収入・支出が適法かつ正当に行われたかどうかについて確認することであるとされ

ている。また、決算審査にあたっては、議会として、関係法規に対する適合関係、計数的な整合に留まらず、過去の財政運営を通じて問題点を発見し、将来の財政運営に反映させるといった視点からも検討することを期待することとされている。今回の予算決算委員会においては、各事業において細部まで質疑が及んだが、市側から懇切丁寧な説明があり、決定された予算に対して適法かつ正当に予算が執行されたことが確認できた。また、当初見込んでいた基金からの繰入に頼らずに決算できたことも評価する。

一方で、実質単年度収支については1億8,400万円程度の赤字になっているため、今後とも行財政改革を一層推し進めていただくことを期待する。



予算決算委員会の様子

議案第62号

令和6年度茅野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

賛成多数で認定

歳入決算額は、49億4,672万1,800円、歳出決算額は、48億2,958万3,106円。歳入歳出差引残額は、1億1,713万7,074

円となり、同額が実質収支額となった。

反対討論

物価上昇の中で国保税を上げなければならぬ状況は分かるが、税の割り振りに工夫が必要と考える。子ども子育て支援で負担が増える。国保税は子どもが多い家庭ほど高くなる。国保税が上がるにより税の占める割合が増えており、それだけ被保険者の負担が増えている。税の負担の割り振りに工夫がなかったことが残念である。

賛成討論

反対討論の中で、条例改正の内容が残念だったという言及があった。議会において、決算審査の上で重視すべき事項は、条例の内容の良し悪しではなく、定められた条例に沿った適法性、正当性を見極めることである。改正前の条例に従った予算執行がされていれば、逆に不認定としなければならぬと思うが、決算の内容を審査し、収入・支出が適法かつ正当に行われていたことが確認できている。

その他各会計の決算議案

議案第63号

令和6年度茅野市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
全会一致で認定

議案第64号

令和6年度茅野市水道事業会計決算の認定及び剰余金の処分について
全会一致で認定

議案第65号

令和6年度茅野市下水道事業会計決算の認定及び剰余金の処分について
全会一致で認定・可決

議案第66号

令和6年度茅野市米沢鑄物師屋財産区特別会計歳入歳出決算の認定について
全会一致で認定・可決

議案第67号

令和6年度茅野市湖東白井出財産区特別会計歳入歳出決算の認定について
全会一致で認定

議案第68号

令和6年度茅野市豊平下菅沢財産区特別会計歳入歳出決算の認定について
全会一致で認定

議案第69号

令和6年度茅野市泉野大日影財産区特別会計歳入歳出決算の認定について
全会一致で認定

総務環境委員会（9月16日）

委員長 梯 泰弘

議案第52号

令和7年度（仮称）茅野駅前賑わい交流拠点施設整備工事の請負契約について
全会一致で可決

（仮称）茅野駅前賑わい交流拠点施設を整備するための請負契約について、議会の議決を求めるもの。

問 仕様が未確定の中で予定価格をどのように積算したのか。

答 プロポーザル提案に基づく見積りを基礎とし、令和5年度の調査等も踏まえ算定した。

問 応募が1社で比較ができない中、契約額の妥当性はどうか担保したのか。

答 提案に基づく見積りで契約する手続であり、令和5年度調査でも経費を検証しており妥当と判断した。

問 ベルビアのバックヤードに近い奥の区画は今回の整備範囲に含まれるか、また今後の活用予定はあるのか。

答 当該部分は、ベルビアのバックヤードであり今回は範囲外。今後については、株式会社ベルビアとの協議事項となる。

問 設計が進む中で契約金額との乖離が生じる可能性はあるのか。

答 設計を進めながら詳細を協議するため、細部は市も参画して協議していく。

問 施工と運営を別契約にした理由は何か。

答 運営は指定管理を予定しており、条例制定の必要があるため、設計が進まないと条例案が作れず、今回は施工と運営を分けた。

問 施工と運営の一体性はどのように担保するのか。

答 プロポーザルで選定後に相手方と基本協定を締結し、一体的に進める旨を規定して担保している。

問 事業が頓挫した場合、市が利用者対応や費用負担をすることになるのか。

答 施設は残るため、新たな指定管理者の公募や直営等を検討することとなる。

問 支払方法はどのようなものか。

答 前払い、または部分払いが可能。

議案第56号

茅野市職員の勤務時間及び休暇等に関する条例等の一部を改正する条例について
全会一致で可決

職員の時間外勤務の制限対象の範囲の拡大や、子の年齢に応じた柔軟な働き方を実現するための措置の拡充、仕事と介護の両立を支援する措置の拡充を行うために、関係条例の改正を行うもの。

問 任命権者の責務が読み取りにくい、根拠法ではどのような組み立てになっているのか。

答 元となる法律も同様の組み立てである。

問 今回の改正による制度が確実に実施されるものと理解してよいのか。

答 職員を守るのと市長発言も日頃からあり、働きやすい環境づくりに取り組んで行く考えである。



経済建設委員会（9月17日）

委員長 小尾 一郎

議案第53号

市道路線の認定について

（玉川神之原・栗沢地籍）

全会致で採決

道路法第8条第2項の規定により、宅地開発に伴う市道路線の認定について議会の議決を求めるもの。

問 今回の宅地造成は、開発面積が3千㎡未満ではあるが、隣接して連続した開発が行われており、一体で3千㎡の宅地造成にも見えるが、開発行為には該当しないのか。

答 開発行為の許可権者は県のため、県にも確認をした。今回の造成は、隣地とは開発事業者が異なっており、また、今回の造成に伴って隣接地に手を加えることもないため、開発行為には該当しないということになる。

問 その基準が一連の判断基準と捉えているのか。また、こういったケースでは県と連携しているのか。

答 開発面積が3千㎡未満の場合は、開発行為の許可を要しないが、今回のような連続する開発は、その都度、県が判断することになっている。県は、開発行為ごとにその状況に応じて判断をしているとのこと。県との連携については、市に開発関係の相談があった場合には、県にも相談をするよう

に紹介している。市でも過去に開発行為があった箇所は把握しているで、今回のような場合は、県にも情報提供や相談をしながら進めている。道路については、移住推進の観点からも、市道として引き取れる条件の基準はあるが、可能なものは市道として管理をして行きたいと考えている。



現地調査の様子

問 今までのものは開発地内での行き止まりが多かったが、この道路は完成後に既存の道路と接続し、通り抜けが可能になる。このことを踏まえて、道路管理や安全管理上、今までと異なる点があるのか。

答 今回の場合は、抜け道としての利用も考えられるが、現時点では規制や標識の設置は計画していない。今後の使われ方によっては、必要に応じて対応したい。

問 認定した後も基本的には維持管理は居住者をお願いするということだと思うが、今回の公道同士を結ぶ部分についての維持管理費用や管理主体はどうなるのか。

答 維持管理については、側溝や舗装面は市で管理をしていくが、道路

に出てくる宅地内の草などは、道路機能に支障がないように宅地の所有者や隣接者で管理していただくことになる。

福祉教育委員会（9月17日）

委員長 木村 かほり

議案第57号

茅野市国民健康保険条例の一部を改正する条例について

全会致で採決

国民健康保険法の規定による国民健康保険被保険者の適用除外要件に基づき、関係規定を整備するもの。

問 国保の被保険者でなくても、扱いは変わらないのか。

答 児童福祉法に基づき、被保険者証に代わる受給券が発行され、窓口負担はない。保険適用分は国費で賄われるため、適用除外としても対象児童に不利益は生じない。

問 どのような方が対象で、なぜこの時期の改正なのか。

答 扶養義務者がいない児童が適用除外の対象となる。時期については、このような状況となり得る事例があり、他市町村の状況等を勘案し、ここで条例を改正しておく必要があると判断した。

陳情10「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める陳情書

全会致で採決

子どもたちの豊かな学びを保障するため、「カリキュラム・オーバーロード」（学校における教育、学習内容が、質、量共に過剰、過密となることで、児童、生徒や教員に過度に物理的、精神的な負担がかかっている状態）の早期改善、及び学習指導要領内容の精選等を行うことを求める意見書を、政府関係機関に提出することを求める陳情。

委員会での意見

○主に教職員の働き方や処遇改善を訴えているように思える。学習指導要領の精選と教職員の働き方改革を別で考えるのであれば採択。

○学校現場の教職員から見た状況からの陳情であり、市側の説明でも現場に課題があり、改善の一助になると思う。反対する理由がないので採択。

○児童、生徒と教職員の負担が、学びの質の低下と同様の問題だと感じる。日本だけでなく世界的にも問題視されており、現場の声のため採択。

○教職員の処遇改善を言うことで、「子どものため」という内容が弱く感じるが、趣旨は理解できるため採択。

○国もこの問題の改善を検討しているとの報道が出ているため改善の方向にあると思うが、今回の陳情は現場の声であるため採択。



茅野市の課題を問う!

令和7年9月定例会一般質問通告一覧 ①

一般質問における実際のやりとり、市側の答弁については、記載の QR コードから動画でご覧いただけます。

質問者	件 名	小項目・動画 QR コード	
 佐々木 美智子	1 まちづくりにおける公共交通施策の位置づけと今後の投資方針	(1) まちづくりにおける公共交通施策の位置づけについて (2) 公共交通施策への投資方針について	
	2 学校再編後を見据えた市全体の未来づくり	(1) 地域対話から見てくることについて (2) 学校の在り方における庁内横断的な体制について (3) 教育課題にとどまらず未来を描く必要性について	
 木村 明美	3 令和7年10月からの公共施設使用料改定に伴う施設使用の運用について	 (1) 温泉施設の運用面での変更及び改定の周知について (2) 市民活動センターの運用面での変更及び改定の周知について (3) 中央公民館の運用面での変更及び改定の周知について (4) スポーツ施設の運用面での変更及び改定の周知について (5) 学校施設の運用面での変更及び改定の周知について	
 樋口 敏之	4 DX 基本計画の取組状況について	(1) 庁内 DX の現状と展望について (2) 庁内 DX の推進における情報システムの管理体制について	
 竹内 巧	5 茅野市ゼロカーボン戦略の進捗について	 (1) 茅野市ゼロカーボン戦略の進捗状況について (2) 促進区域の抽出状況について (3) 本市が有する課題を地球温暖化対策と同時に解決していく具体的な施策について (4) 市民を巻き込んだ温暖化対策と市民意識の醸成に向けた取組について (5) 2030 年度の目標に向けた重点施策について	
 東城 源	6 小学校のあり方について	(1) 小学校のあり方検討の経過について (2) 地域対話の包括について (3) 今後の進め方について	
 木村 かほり	7 住民自治を目的としたパートナーシップのまちづくりの再構築の具体的な取組について	 (1) 公民館、分館の役割と地縁団体や住民との協働について (2) 地区コミュニティセンターの役割と住民との協働について (3) 住民自治を支援するための仕組みづくりについて	
	8 行財政改革に伴う公共施設使用料改定や施設廃止による市民生活への影響と支援策について	(1) 温泉施設を利用する障がいを持つ方への影響と対策について (2) 市民活動センター、地区コミュニティセンターを利用する方への影響と対策について (3) 中央公民館を利用する方への影響と対策について (4) 市営プールの廃止、民間譲渡による影響について	
 両角 直樹	9 健康寿命を延ばすための施策について	(1) 生活習慣病への対策について (2) がん検診の受診率について (3) 介護予防・フレイル予防について (4) 地域包括ケアシステムの現状と今後について (5) デジタル田園健康特区を活かした施策について	

令和7年9月定例会一般質問通告一覧 ②

質問者	件 名	小項目・動画 QR コード
 伊藤 勝	10 指定管理者制度のあり方について	 (1) 発足時の文化の拠点としての考えをどのように捉え、今後の展開をどのように考えているか (2) 指定管理者制度として市と(株)地域文化創造との関係は
	11 環八ヶ岳構想の今後の展開について	
 野沢 明夫	12 暑さ対策について	 (1) 市内施設の冷房設置の状況及び運用基準は (2) 学校での授業や部活における熱中症対策は (3) 学校プール利用の現状と対策は
	13 諏訪6市町村における水平的連携について	
 向山 平和	14 子どもの目の健康について	 (1) 小中学生の目の健康状態の状況について (2) 目の健康維持のための取組について (3) 保護者への注意喚起について (4) 子どものスマホ等の使用ルールの策定について
	15 レイクリゾート構想基本方針と環八ヶ岳連携構想の今後の展開について	
 両角 実晃	16 社会構造の変化に伴う地域コミュニティへの影響及び今後の展望について	 (1) パートナーシップのまちづくりにおける地域コミュニティの位置付けについて (2) 地域コミュニティに対する現状把握について (3) 社会構造の変化に伴う地域コミュニティへの影響について (4) 支援体制について (5) 今後の展望について
	17 デジタル田園健康特区の取組について	
 望月 克治	18 健康保険証が廃止された現在の医療機関受診時の対応について	 (1) 健康保険証の廃止や、マイナカードの更新について、問い合わせはありますか (2) 後期高齢者には、被保険者に「資格確認書」が送付されていますが、被保険者や医療機関からの問い合わせはありますか
	19 スワコエイトピークスミドルトライアスロン2025について	

みなさんもぜひ傍聴にお越しください！

市議会の本会議及び各常任委員会とはなたでも傍聴できます。予約の必要はありません。

本会議の傍聴を希望される方は、直接議会棟3階までお越しください。なお、委員会の傍聴をご希望の方は、事前に議会事務局までご連絡をお願いします。



12月定例会本会議予定

11月28日(金) 開会、提案説明

12月9日(火)～ 一般質問

12月19日(金) 委員長報告、採決、閉会

※変更となる場合があります。

日程は、確定後に議会ホームページに掲載します。

令和7年9月定例会 市提出議案 議決結果

番 号	件 名	付託先委員会等	議決結果
議案第51号	令和7年度茅野市一般会計補正予算（第2号）の専決処分の承認を求めることについて	付託省略	承認
議案第52号	令和7年度（仮称）茅野駅前賑わい交流拠点施設整備工事の請負契約について	総務環境委員会	可決
議案第53号	市道路線の認定について（玉川神ノ原・栗沢地籍）	経済建設委員会	可決
議案第54号	茅野市等公平委員会委員選任の同意を求めることについて	付託省略	同意
議案第55号	茅野市教育委員会委員任命の同意を求めることについて	付託省略	同意
議案第56号	茅野市職員の勤務時間及び休暇等に関する条例等の一部を改正する条例について	総務環境委員会	可決
議案第57号	茅野市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	福祉教育委員会	可決
議案第58号	令和7年度茅野市一般会計補正予算（第3号）について	予算決算委員会	可決
議案第59号	令和7年度茅野市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について	予算決算委員会	可決
議案第60号	令和7年度茅野市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について	予算決算委員会	可決
議案第61号	令和6年度茅野市一般会計歳入歳出決算の認定について	予算決算委員会	認定
議案第62号	令和6年度茅野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	予算決算委員会	認定
議案第63号	令和6年度茅野市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	予算決算委員会	認定
議案第64号	令和6年度茅野市水道事業会計決算の認定及び剰余金の処分について	予算決算委員会	認定・可決
議案第65号	令和6年度茅野市下水道事業会計決算の認定及び剰余金の処分について	予算決算委員会	認定・可決
議案第66号	令和6年度茅野市米沢鋳物師屋財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	予算決算委員会	認定
議案第67号	令和6年度茅野市湖東白井出財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	予算決算委員会	認定
議案第68号	令和6年度茅野市豊平下菅沢財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	予算決算委員会	認定
議案第69号	令和6年度茅野市泉野大日影財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	予算決算委員会	認定
議案第70号	茅野市教育長任命の同意を求めることについて	付託省略	同意
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	付託省略	同意

令和7年9月定例会 陳情・議員提出議案 採決結果

番 号	表 題	提出者	付託先委員会等	議決結果
陳情9	国に防衛力強化の一環として、食料安全保障を重要視することに関する陳情	社会の歪を鋭く追及政策提言する世直し集団「一輪のバラの会」	議場配布	—
陳情10	「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める陳情書	長野県教職員組合諏訪支部	福祉教育委員会	採択
議員提出議案第19号	「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書	木村かほり議員 両角直樹議員 渋谷務議員 野沢明夫議員 伊藤勝議員 両角実晃議員	付託省略	可決
議員提出議案第20号	医療費助成に係る国民健康保険の国庫負担減額調整措置を全て廃止し、福祉医療給付制度を国の制度として確立することを求める意見書	望月克治議員 伊藤勝議員 向山平和議員	福祉教育委員会	継続審査
議員提出議案第21号	令和8年度診療報酬改定で大幅引き上げを求める意見書	望月克治議員 伊藤勝議員 向山平和議員	福祉教育委員会	継続審査

令和7年9月定例会 賛否が分かれた議決結果

○…賛成 ●…反対 ※議長は採決には加わりません。

	番号	件名	議決結果	両角直樹	梯泰弘	向山平和	佐々木美智子	洪澤務	木村明美	竹内巧	木村かほり	長田近夫	東城源	机博文	小尾一郎	樋口敏之	野沢明夫	伊藤勝	望月克治	両角実晃
市提出議案	61	令和6年度茅野市一般会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数により可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○
	62	令和6年度茅野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数により可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○
議員提案	19	「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書	賛成多数により可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○

新たな議会活性化特別委員会（全議員で構成）では、定数16名となった時の常任委員会の構成や、時代に即した議員報酬のあり方について検討するほか、議会基本条例の検討や議会活性化に向けた調査・研究を行うこととしています。

まず、特別委員会の中に「常任委員会検討部会」と「報酬検討部会」の2つの部会を設け（組織構成図参照）、11月末を目途に部会としての考えをまとめ、特別委員会において再度熟議を重ねることとしています。

10月15日に開催した特別委員会では、検討の経過も含めた中間報告を行いました。両部会において検討を重ねた上での報告でしたが、18名の目で見ることによって、深堀すべき点や新たな切り口での指摘など、再調査を要する点をいくつか確認しました。全議員がそれぞれの思いの中で感じたことを表明し、議論を交わすことで新たな課題が見えてくる…これこそが議会であると思います。

両部会が抱える案件の先には、議会基本条例の検討と議会活性化に向けた調査・研究が控えています。解決すべき課題は盛り沢山ですが、時間を掛けるべきところにはしっかり時間を費やし、「幸せを実感できる茅野市」を実現する一翼であり続ける議会を目指し、議員一丸となって取り組みます。

なお、広報広聴委員会でも、市民との意見交換を新たな試みで実施する準備を進めているほか、常任委員会の活動をお伝えできるようホームページの有効活用も考えており、活性化に繋がる取組を進めております。

議会活性化特別委員会 経過報告

組織構成図

議会活性化特別委員会（18名）

委員長 竹内 巧 副委員長 洪澤 務

常任委員会検討部会（9名）

部会長 洪澤 務 副部会長 両角直樹
委員 佐々木美智子、机 博文、東城 源、
長田近夫、小尾一郎、望月克治、
両角実晃

報酬検討部会（9名）

部会長 竹内 巧 副部会長 木村明美
委員 梯 泰弘、向山平和、木村かほり、
樋口敏之、野沢明夫、伊藤 勝、
矢島正恒

検索！
Check!

議場で行われる本会議は ライブ中継と録画映像でご視聴いただけます。

議場で行われる本会議は、下記の予定に合わせてビーナチャンネル（12Ch 茅野市コミュニティ放送）とインターネットでライブ中継を行います。テレビで、ネットで、ぜひご覧ください。



録画映像
QRコード

なお、本会議や一般質問等の録画映像は、後日議会ホームページで配信します。詳しくは議会ホームページをご確認ください。

また、同ホームページ内の『会議録検索システム』により、会議録の閲覧もできますので、併せてご利用ください。



会議録
QRコード

茅野市議会

検索



ちの市議会だより第56号は、3月1日発行予定です。

